

小金井市公立保育園運営協議会視察記録（案）

1 視察日時

平成27年10月22日（木）午前9時00分から午後0時30分まで

2 視察場所

社会福祉法人わらしこの会 わらしこ保育園（府中市若松町4-27-6）

3 参加者

氏名	所属	備考
東海林 一基	くりのみ保育園保護者	
本多 由美子	くりのみ保育園保護者	
三橋 誠	わかたけ保育園保護者	共同委員長
細部 真佐子	わかたけ保育園保護者	
八下田 友恵	小金井保育園保護者	
寺地 理奈	小金井保育園保護者	
石澤 和絵	さくら保育園	
佐久間 育子	子ども家庭部長	共同委員長
鈴木 遵矢	保育課長	
前島 美和	くりのみ保育園	
杉山 久子	わかたけ保育園園長	

4 概要

(1) 施設側出席者

わらしこ保育園園長 左合 弓美

(2) 視察概要

ア 施設概要

- ・運営主体 社会福祉法人 わらしこの会
- ・開設年月日 2000年4月1日
- ・園児定員 100人
 - （内訳） 0歳児：12人
 - 1歳児：15人
 - 2歳児：16人
 - 3歳児：19人
 - 4歳児：19人
 - 5歳児：19人
- ・保育時間 7時から19時まで（18時から19時まででは延長保育）
- ・敷地面積 1,188.85平方メートル
- ・建設面積 687.70平方メートル

- ・建物構造 鉄筋コンクリート2階建
- イ 園長から法人沿革、保育内容等について説明がなされた後、運営協議会委員が3班（4歳児クラス、乳児クラス、一時保育）に分かれて保育の状況（園内での保育状況、散歩等の状況、給食の状況等）を視察した。
- (3) 保育方針（園HPから）

保育園理念

一人でも多くの子どもたちが、平和な世の中で、安心できる大人のもとで伸び伸びと育てほしい。

- ・人間としての自立にむかって親と保育者が協力して子どもの成長を育み見守るという子育ての共同化を目指します。そのために子どもに関わる大人は子どもの最善の利益と子どもの福祉の増進を常に考えます。保育園は親が安心して預けられる、相談できる場であり、地域の核となることを保育園の理念とします。

こんな保育園に

- (1) 働くことと子育ての両立を求める保護者が安心して預けられる保育園に。
- (2) 集団生活を通して、子ども達の自立へ向けての土台をしっかりと耕すことができる保育園に。
- (3) 保育者が、心身ともにゆとりを持ち、責任を持って保育にあたる保育園に。
- (4) 子どもと子ども、子どもと保育者、保護者と保育者、保護者同士、保育者同士が、ともに育ち合える保育園に。
- (5) 地域住民との連携の中で、豊かな子育てが支えあえる保育園に。
- (6) 地域の保育、教育、医療と連携し保育の向上を求め続ける保育園に。
- (7) 平和な社会をめざしていける保育園に。

子ども像

- 1 自然を愛し、四季の変化の中で五感を使って遊び切る子ども。
 自然の中で遊具に頼らず十分に遊んで心身を開放させ、発見し、学び、感謝し、好奇心や関心を持ち四季の自然を愛ししてほしい。
 遊ぶことは子どもの仕事。とことん遊びきることで意欲、活動力、集中力を育て丈夫でしなやかな心と身体になり働くことが好きになってくるのです。
 基本は基礎体力がしっかりあること。生活リズム、食べること、睡眠を整え、筋力をつけること、脱力することに配慮した保育で病気に負けない免疫力、神経系の強化を図ります。
- 2 豊富な生活体験をもとに、自信をつけ生きる力を伸ばす子ども。
 楽しい生活を作りあげていくこと。それは、四季折々の季節感を盛り込んでいねいな生活です。
 明日へと積み重ね 作り上げていく生活です。
 主体的な行動が、自信を育みます。
 豊富な生活体験をもとに、自信をつけ生きる力を伸ばします。
- 3 集団の中で自己を表現する力をつけ、友達を受け入れ仲間と共に育ち合う子ども。
 子ども自身が言葉や態度で、意思を表現しようとしたり、伝えること
 これらはとても大切なことです。そして、それが表現できる人的環境があることが、

とても重要です。

大人が子どもに向き合い、言葉を使って関係を積み重ねることで、人への信頼関係を育てます。

保育の目標

保育の中で現在の子どもたちに必要な力は、丈夫で・しなやかで・健康な心と身体を基本とし、以下の五つの力を豊かな生活体験をしながら育てていきたいと願っています。

- 1 人とかかわっていける力(社会的能力)
- 2 働ける力(労働能力)
- 3 言葉で伝えられる力(言語的能力)
- 4 知っていく力(認知能力)
- 5 生命をはぐくみ育てていける力(健康管理能力)を豊かな生活体験をしながら育てることが保育目標です。

保育の特色(三つの力で育てる力)

- 1 (心と身体のバランスをとる力)
 - ・身体のバランスは、心のバランス。ともに安定させます。
 - ・食事は和食中心で、成長に必要なバランスのとれたものを食します。
 - ・毎日戸外で遊び、入浴をして血行を促します。
 - ・マットでの全身マッサージ・リズム運動を取り入れしなやかな身体をつくります。
- 2 (考える力)
 - ・子どもを一人の人間として尊重し自らが、多くの生活体験の主体者だと実感させます。そして、その体験を通して自分で考える力を引きだしていきます。
 - ・視て、聴いて、触って、感じることで自己が表現する力も言葉とともに育てます。
 - ・自己の内面の自我を育てます。
- 3 (生きていく力)
 - ・基本になるのは、まず、「自分」がしっかりあること。
 - ・自然の中での様々な体験が自分への信頼となり学齢期への原点となるよう、知識より知恵としての力をつける。

- (3) 確認した事項・委員からのコメント等
別紙のとおり